

幸せの歌



第6回通常総会 (27.5.22)

JA宗谷南

2015NEN
6GATUGOU
~SEASON42~

第6回JA宗谷南通常総会



第6回宗谷南農業協同組合通常総会が、5月22日枝幸町コミュニティセンターにおいて組合員(本人出席63名 書面出席39名 委任状出席16名)118名が出席のもと、開催されました。物故組合員・役職員への黙祷から始まり、JA綱領朗読後、激励状及び、良質乳出荷者表彰の贈呈が行われました。

開会にあたり向井地組合長は、昨年は、TPP関連について、当初5品目は守ると言う衆参両議決もありましたが、日本の思うようにはいかない様でありました。日本の農業、日本の食糧、農業者の生活を守るために戦っていかねばならない事が重要である事、またJA改革が大きな話題となり、JA改革の中には、准組合員の利用制限について論議され、農業者でない准組合員が農協を利用するのはいけないと言っている事に対して、地方創生や地域住民の為に利用制限する事に疑問を抱いている事を訴えました。

JA合併につきましては、宗谷管内の合併構想は、今から23年前に遡り、過去色々な枠組みで構想され、現在に至った状況について組合員に説明されました。

農協運営におきまして、生乳の生産量は計画を達成することはできませんでしたが、皆様の営農努力と、職員の日頃の経営努力により、最終的には昨年の繰越金を合わせ剰余金は1億3千万円程を計上出来た事を組合員にお礼を述べ、提案する議案について、審議をお願いし、開会の挨拶と致

しました。

議長には歌登地区の小椋義則さんが選出され、議案の審議が開始されました。

議案第1号から第6号、そして第7号の第3次中期5ヶ年計画の設定について、全議案を賛成多数で承認された後、報告事項1のJAバンク基本方針の変更について、報告事項2の労働保険事務組合の平成26年度保険料の徴収・納付状況についてを報告し、審議並びに報告のすべてを終了いたしました。

審議終了後、宗谷南農業協同組合、宗谷南農協青年部、宗谷南農協女性部を代表して、青年部の今尚春部長と女性部の奥出きい部長両名による「農協改革に関する決議」、「TPP等国際貿易交渉から北海道を守り抜く決議」の決議文を朗読、盛大な拍手をもって決議されました。

閉会にあたり向井地組合長は、現在、農業を取り巻く環境は、TPP、JA改革と厳しい状況でございますが、我々が酪農に魅力と自信を持ち営農しなければならぬ事、また今回激励状を受賞された若い後継者4名の皆様に夢と希望を持ち、自信を持って経営して頂きたいと、激励して閉会の挨拶としました。



議長に選任された小椋義則さん

激励状・良質乳表彰贈呈者

激励状贈呈者
後継者

中島	瑞希	さん
山田	唯太	さん
坂東	翼	さん
工藤	慎司	さん



右手奥から、
中島 瑞希さん
山田 唯太さん
坂東 翼さん

これからの営農頑張ってください

表彰状贈呈者

良質乳出荷者表彰

山崎	孝敏	さん
菅原	一人	さん
佐々木	寿征	さん



良質乳出荷表彰を受ける山崎 孝敏さん



良質乳出荷表彰を受ける菅原 一人さん



農協改革に関する決議文を朗読する青年部員



TPP等国際貿易交渉から北海道を守り抜く決議文を朗読する女性部員

2015年

道北ブラック&ホワイトショウ



5月16日、道北ブラック&ホワイトショウがホクレン豊富地域家畜市場において開催され、宗谷地域・留萌地域から175頭の出品がありました。

JA宗谷南からは、6戸14頭の出品があり、見事一部にエントリーした小椋義則さん出品の「オムラ ボルドア」号が未經産の部でリザーブチャンピオンに輝き、2部では、赤坂一弘さん出品の「ニシキ フォーチュン モア シンド」号が2位を獲得、3部では、小椋義則さん出品の「TMF ホンマ エミール チップ マートン」号が1位、寺前吉幸さん出品の「ハーバービュー ウインドブルツク シマー」号が4位を獲得、4部では、内田喜久男さん出品の「ハッピーライン アメイジング エツセ」号が1位を獲得、7部では、小椋義則さん出品の「ウインタープレース AW バレンタイン ミツシー」号が3位獲得など、上位入賞を果たしました。

グラントチャンピオンに輝いたのは、遠別町の佐久間陽生さん出品の「レツドブリック 1 ゼニス シヤニア」号でした。しかしどの乳牛達もレベルが高く、宗谷・留萌の乳牛改良がハイレベルである事がうかがえる道北ブラック&ホワイトショウであったと思います。

出品者の皆様本当にお疲れ様でした。そしてこれからの共進会においても更なる好成績を目指して頂きたいと思えます。



内田喜久男さん出品の「ハッピーライン アメイジング エツセ」



赤坂一弘さん出品の「ニシキ フォーチュン モア シンド」



小椋義則さん出品の「オムラ ボルドア」



関口真也さん出品の「M. F. ロベル スパークリング」



寺前吉幸さん出品の「ハーバービュー ウインドブルツク シマー」



高橋慶大さん出品の「ポールスター シーパー ジャツクリン」

第6回JA宗谷南女性部通常総会

4月21日酪農振興センターにて、JA宗谷南女性部通常総会が行われ、関係者らおよそ20名が出席しました。

始めに、女性部環境整備の表彰として花の部門で白取とみ子さんが表彰され、次に野菜の部門で今井美奈子さんが表彰されました。

開会に当たり奥出部長は、昨年は雪解けの遅れから牧草の品質が心配されたが、今年は雪解けが早く今まさに、牧草収穫の準備をされている事だと思いが、怪我には十分注意をしてほしいと、農作業事故防止を呼びかけました。

また、来賓の北海道議会議員の三好雅議員からは、現在TPPや農協改革など大きな問題が懸念される中、農業者の皆様の負担を少しでも軽くなるよう私達も頑張り、そして皆様のこれからの活躍に期待し、実り多い年になるようにとお祝いの言葉を述べました。

事業報告では、花壇整備や研修旅行、地域の活動に積極的に参加した事を報告しました。27年度の活動計画では、組織の強化と活動体制の強化、農協事業の学習と活動への参加、営農と生活改善の推進、良質乳の出荷、担い手センター施設の積極的利用を重点目標とし、家族の健康管理や農作業事故の防止にも努めるとしました。



今年役員改選期でもあり、部長には奥出部長が再任され、小林副部長、菊池副部長、理事には樋口睦美さん、日南利さん、監事には小椋八重子さん、向井地早苗さんが選任されました。閉会後は、食事を囲み、今後の女性部の活動の話などで盛り上がりました。



総会終了後の懇親会



新役員
左から 奥出部長、日南 利さん、小林 幸恵さん
樋口 睦美さん



代理で表彰をうける、山岸さん(上)と樋口さん(下)

第6回JA宗谷南青年部通常総会



新部長の今 尚春さん



4Hクラブの皆様も参加しました



森次部長の挨拶

4月23日、酪農振興センターにて、JA宗谷南青年部通常総会が開催され関係者ら21名が出席しました。

冒頭の挨拶で森次部長は、26年度の青年部活動としては、みるきいちゃんを中心とした牛乳・乳製品のPR活動、新たな取り組みとして「農村ファームステイ」の実施や、目標であった、より多くの部員が青年部活動に参加する事が達成でき、充実した一年であった事を振り返りました。

また、来賓の北海道議会議員の三好雅議員は、「皆様のご支援により、再選させて頂いた」と改めてお礼を述べ、農業が地域や環境を守っている事を都市部の方々に理解してもらえよう尽力する事を約束し、今日は、自分と同世代である、青年部の方々と、色々な事を気軽に話して行きたいと話され、お祝いの言葉としました。

議長には、風烈布地区の山下豊さんが選任され、全ての議案が承認されました。最後に今年度は、改選期という事で、森次部長に代わり、音標地区の今尚春さんが新たな部長に選任され、今部長は、「当青年部が飛躍出来る様、宗青協の会長でもある関口さんを積極的にサポートする他、牛乳・乳製品PR活動も更に力を入れて活動していきたい。」と述べ閉会しました。

ベトナム実習生 受け入れ促進セミナー



ベトナム実習生受入促進セミナー

一般財団法人東亜総研とは？

日本と東アジア並びに関連する地域において、互いを思いやる協和の精神に則り、共に栄えることを目的として、平成25年6月27日に設立しました。

様々な対話や事業を通じて信頼関係を醸成し、他国の問題も自らの問題と自覚し、日本の持てる力を日本と東アジアのために発揮、東アジアの民生向上と経済発展に寄与し、それらの活動によって国と国との友好関係を強め、地域の安定と世界の平和・繁栄に貢献することを目的としています。



5月31日ベトナム実習生受け入れ促進セミナーを開催し、およそ40名が参加しました。

日本農業においては、担い手不足、労働力不足が深刻な問題となっており、幸町においても例外ではありません。これらの問題をベトナム実習生受け入れで緩和できる可能性があると考え、東亜総研様ご協力の下、今回のセミナー開催に至りました。開催にあたり向井地組合長は、日曜日ではありませんが、多くの方にご参加頂いた事にお礼を述べ、研修生受け入れにあたり、今後研修施設に対しての助成等の検討も含め、これからの労働力不足に対して考えていかなければならない事を話され、開会の挨拶としました。



武部 勤代表理事・会長の挨拶

その後、元自民党幹事長で、現東亜総研の代表理事・会長であります、武部勤氏より長年のベトナムとの交流より生まれた、ベトナム実習生受け入れの経緯を伺い、セミナーが開催されました。セミナーには、東亜人材★北見より、3名の方が来町さ



左から東亜人材★北見
所長 大髭 輝雄氏
次長 竹村 得夫氏
担当理事 長澤 薫氏



れ、竹村得夫次長より説明がありました。始めに、外国人技能実習制度について、単なる労働力ではなく、「人づくり」に寄与する事を目的としている事を強調され、実際に実習生を受け入れる際には受け入れ先とのヒアリングが必要である様です。また、受け入れ申し込みから、受け入れまでには最短でも6カ月の期間を要する事と、費用に関しては概ね1月当たり20万円程度掛る事をご理解頂きたいと説明され、今後ベトナム実習生受け入れが普及していけば、更により良い仕組みが出来る事と、ベトナム人は勤勉で仕事熱心であり、皆様の力になれると同時に、日本の高度な技術を普及させる為にも、多くの方にご利用して頂きたいと、お願いし閉会致しました。

実習生受入促進セミナー



説明して頂いた、竹村 得夫次長



授精所だより



体型審査についての¹その

① 体型審査の目的

酪農経営を行う上で、乳牛に第一に求めるものは泌乳能力です。そして、乳牛の本当の価値は、その牛が一生涯にどのくらいの乳量を生産したかによって決まります。生涯生産能力をより高めていくことが生産コストの低減と、収益性の向上につながります。

長い期間にわたって高い泌乳能力を維持するには、健康で骨格のしっかりした体型と形状・付着のよい乳房、丈夫な肢蹄等が必要です。これらは飼養管理や搾乳管理の作業効率を高める上でも重要な役割を担っています。乳牛の審査は、体の各部位の機能性を評価することにより、その牛が生涯にわたって高い泌乳能力を発揮できるか否かを判定する手法です。



↑ホルスタイン種雌牛理想体型
6歳、分娩後5カ月、乳量9,000*^{kg}以上

② 体型得点形質と線形形質

体型審査では、体型得点形質の採点と線形形質の評価が行われます。体型得点形質は乳牛らしい体型を把握する形質であり、線形形質は、詳細な体型的特長を明らかにし、それから得られる情報をもとに、機能的体型を改良するために役立てられます。

③ 体型得点形質

ホルスタイン種雌牛審査標準に基づき、体貌と骨格(25%)、肢蹄(20%)、乳用強健性(15%)、乳房(40%)の4部位14項目が採点され、決定得点が決まります。決定得点が高いほど理想体型に近いと言えます。

体型審査によって得られたデータは雄牛と雌牛それぞれの遺伝評価に利用され、それらは総合指数(NTP)を構成する重要な要素となります。NTPは乳牛を総合的に遺伝改良するために開発されたものであり、よりNTPの高い雌牛の子孫を残していくことで、泌乳能力と機能的体型に優れた牛群を作り上げていくことができます。



審査は個々の牛の遺伝的特徴や栄養の充足だけでなく、牛舎環境、削蹄、飼養管理などにも及びます。審査を活用し、それぞれの経営や牛舎に合った改良と飼養管理の見直しを行ってみたいかがででしょうか。

祝結婚報告



未だ酪農情勢は厳しい中、明るいニュースが飛び込んできました。

風烈布地区の番場健悟さんが、5月25日にご結婚しました。

お相手は、兵庫県出身の朋子さん♡二人は番場さんがかつて掲載していたブログで知り合い、写真や動物が好き、ペットの猫の名前が同じという相性のよさで意気投合♡、番場さんの優しさや、同じ人生観に魅かれた朋子さん♡番場さんの熱烈なアピールもあり二人は見事ゴールインを果たしました。

番場さんは、朋子さんの為にも、家族でよりよい酪農経営を目指して行きたいと、語ってくれました。

乳牛の暑熱対策



乳牛は第1胃で採食したものを発酵・分解する際に熱生産がある為、寒冷に対しては強い反面、暑熱に対しては非常に弱い動物であり、4℃～24℃が適温環境である事は知られている所であります。

パンティング～暑熱を意識した観察では、パンティングが目安になります。

・乳牛は皮膚の表面と呼吸器を通して熱を放散させます。牛は汗腺の数が少ないため汗をかいて熱を放散させる事が苦手です。そのため冷却方策が行われないと、呼吸器を通して大量の熱を放散しなければなりません。この状態を**パンティング**(呼吸速迫)と呼びます。

パンティングを起こす条件では、牛は通常反芻しません。この事がアシドーシスの大きな原因となります。

主な暑熱対策

- ・舎飼の場合は扇風機等で体感温度を下げる。
- ・放牧地やパドックに日陰が無い場合は、日中の暑い時間帯への舎外に出すのを避ける。
- ・品質の良い粗飼料を給与する。(ルーメン内の通過スピードが速まり発酵熱が抑えられる)
- ・ルーメン内のpHを下げないように、重層等の給与を行う。
- ・放牧草の採食量を落とさないように、掃除刈りなどの放牧地管理を行う。
- ・ミネラルを増給する。(発汗と排尿の増加により、多くのミネラルが排出され要求量が増えるため)
- ・**新鮮な水を自由に飲めるようにする。**(乳牛はどの栄養素の欠乏より、水の不足により速くそして重度に苦しむ)

宗谷農業改良普及センター 技術情報引用

あなたのウォーターカップはこのようなになっていませんか？



特に夏場の給水設備の汚れは、細菌やカビが増殖し、新鮮な水を飲むことができず、乳量の低下や乳房炎の原因にもなります。



給水設備の清掃では重層を使うと効果的です。

公共育成牧場夏季入牧



5月20日・21日の2日間に渡り、夏季預託牛の受け入れを開始しました。作業に当たったのは、町内酪農家・枝幸町職員・アグリサポート職員・農協職員等30名で行い、2日間でおよそ400頭の乳用育成牛を受け入れました。入牧作業の途中、雨にあたりながらも若手酪農家の頑張りですムーズに入牧作業は進み、冬季預託牛と併せると700頭が放牧される事になります。



岡島看板下花壇整備



宗谷南農協青年部・女性部



befor



afte

5月27日、今年初めての活動として、岡島看板整備をおこないました。

青年部盟友が自前のブランカッターや、耕運機を持ち寄り、看板下花壇とその周辺を綺麗に除草。

その後、女性部員により、今年は試験的にミックスフラワーの種が蒔かれました。



春の大感謝祭

4月29日(水)、資材店舗・Aコープ・給油所・メカニック合同で、大感謝祭を行いました。天候にも恵まれ売り上げ目標も大きく上回り、大盛況のなか終了することが出来ました。皆様のご協力に大変感謝しております。

一般のお客さんも数多く来店し、店舗前は大盛況で賑わっていました。

今後も継続していく計画を立てておりますので、ご購入の程宜しく願い致します。

編集委員
浦高森滝川伊村
谷本川口合藤田
正等忠直直太
憲 幸也樹良

